

平成19年度環境技術実証モデル事業検討会
ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ会合（第2回）
議事要旨

1. 日時：平成20年2月6日（水）13:00～15:00
2. 場所：経団連会館 902号室
3. 議題
 - (1) 実証技術の進捗報告
 - (2) 手数料体制における実証試験について
 - (3) 実証試験要領の見直しについて
 - (4) 今後のスケジュールについて（予定）
 - (5) その他
4. 出席検討員：佐土原聡（座長）、笠松正広、近藤靖史、武田仁、森川泰成
欠席検討員：足永靖信、下田吉之
5. 配付資料
 - 資料1 技術実証の進捗報告
 - 資料2 手数料体制における実証試験について
 - 資料3 実証試験要領見直しの方向性について
 - 資料4 ヒートアイランド対策技術（建築物外皮による空調負荷低減技術）実証試験要領（素案）
 - 資料5 今後のスケジュールについて（予定）
 - 参考資料1 平成19年度ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ会合（第1回）議事概要
 - 参考資料2 ヒートアイランド対策技術分野 拡大ワーキンググループの実施報告
 - 参考資料3 これまでのニーズ調査等の整理
6. 議事

会議は公開で行われた。

 - (1) 新委員の紹介
 - ・ 事務局より人事異動により笠松委員が就任した旨説明。
 - (2) 実証技術の進捗報告
 - ・ 事務局より資料1に基づき技術実証の進捗状況について説明。
 - (3) 手数料体制における実証試験について

- ・ 事務局より資料2に基づき手数料体制における実証試験について説明。
- ・ 手数料体制においても技術開発者の応募を促すため、必要に応じ、実証試験項目を必須項目とオプション的な項目とに区別することが適切であろうとの指摘があった。
- ・ 耐候促進試験結果は、ユーザーにとって重要な情報となるので、必須項目とするのがよいのではとの提案があった。

(4) 実証試験要領の見直しについて

- ・ 事務局より、資料3及び資料4に基づき実証試験要領見直しについて説明。
- ・ 建物のパターンや地域などのシミュレーション条件については、実証対象技術の拡大や応募技術の多様化を想定し、オプション的な実証項目として検討してはどうかという指摘があった。
- ・ 時点更新が可能なデータについて、試験結果の継続性を重視し、今回は更新しないこととなった。
- ・ 試験条件である冷暖房期間について、12ヶ月を通して一定の設定に基づき使用するという条件に変更してはどうかとの指摘があった。

(5) 今後のスケジュールについて（予定）

- ・ 事務局より、資料5に基づき説明。

(6) その他

- ・ 事務局より、平成20年度以降の実証運営機関の募集を予定している旨を説明。

(文責：環境省水・大気環境局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)